

子ども

NO	タイトル	時間	ビデオ媒体	字幕等	所管
1	飛べない翼	30分	VHS	—	人権啓発課
	(1988年作品) 子どもたちの人権に関わる問題として、いじめ、体罰、不登校等を取り上げます。こんな状況に焦点をあてて子どもを一人の人間として尊重することの大切さを訴えます。				
2	わたしたちの話を聞いて！ 「こどもの権利条約」	32分	VHS	—	人権啓発課
	(1993年作品) こどもの権利条約を分かり易く、しかも的確に、視聴覚に訴えている。私たちおとなのパートナーとして、平和を築き未来をつくるこどもにとっても、「こどもの権利条約」がいかに大切かがじっくりと分かるように作られています。				
3	お母さんもっと聞き上手に…	30分	VHS	—	人権啓発課
	(1989年作品) ある幼稚園児が登園拒否に陥りました。元気だった彼がどうしてこんな事になってしまったのでしょうか。家庭・幼稚園での軌跡をたどりながら様々な問題を提起し、母親にもっと聞き上手になって、子どもの気持ちを大切に作る親になってほしいと訴えます。				
4	わが子の長所みえてますか	30分	VHS	—	人権啓発課
	(1993年作品) 子どもの将来を思いやるばかりに、かえってわが子の短所ばかりが見えてしまうのは親の宿命かもしれないが…。近所の子どもを3日間預かった良子の目を通して、長所を見つけ、励ましてやることこそ子どもを伸ばす大切なことなのだと気付いていく姿を描いています。				
5	あなたの子育てまちがっていませんか -過保護と過干渉-	28分	VHS	—	人権啓発課
	(1988年作品) 自主性、実践力のない若者が生まれる背景に、過保護・過干渉という親の養育態度が大きな問題としてクローズアップされています。この映画では、自立できない若者が生まれる背景と、将来を見つめた子育てのポイントを考えます。				

	いじめゼロをめざして	30分	VHS	—	人権啓発課
6	<p>(1995年作品) 一家庭と学校の連携—</p> <p>いじめは、見えにくいと言われている。子どもたちは大人たちを信用せず、それを必死に隠そうとするからだ。一方、大人たちは子どもたちの行動の裏に大人社会の歪みが影響していることに気付いていない。いじめ事件が起きたとき親はどう対処すればいいのか。学校、親は子どもにどう対処すればいいのか、親や教師の責任と役割を考え、いじめゼロをめざして子どもたちのSOSを少しでも早くキャッチする努力を呼びかけます。</p>				
	友だちの心の痛み	30分	VHS	—	人権啓発課
7	<p>(1992年作品)</p> <p>学級からいじめをなくすには、クラスの間みんながいじめられている友だちの心の痛みが分かることが大切です。一つの具体的な事例を通して、この問題を考えます。(小学校高学年対象)</p>				
	学校に行けない子どもたち	30分	VHS	—	人権啓発課
8	<p>(1993年作品) 心の居場所づくり—</p> <p>不登校は今やどの子にも起こりうると見られています。この映画では、不登校の初期段階の小学生にスポットをあて、主なタイプ別に事例をあげて分析し、どのようにしたら不登校を防ぐことができるかを考えます。</p>				
	ママぼくほんとはいい子だよ	29分	VHS	—	人権啓発課
9	<p>(1992年作品)</p> <p>わが子を「悪い子」「手におえない子」と思っている一人の母親が、幼稚園の園長先生に教えられ、子どもの自主性、自律性を育ていけるようになるまでの成長の姿を描いています。幼児教育の導入教材に好適。</p>				
	子どもの本音聞こえていますか	28分	VHS	—	人権啓発課
10	<p>(1994年作品)</p> <p>親の理想を押し付けられ、その価値観の違いに戸惑い、苦しみ、反発し、やがて家庭の中に居場所を見失う子どもたち。各地に設けられた「子ども電話相談室」にはそのような子どもたちの悲痛な叫びが多数寄せられています。彼らの「訴え」を通して、親子の信頼の絆を築き上げるためには、私たちは日常どうあるべきか考えていただく作品です。</p>				
	悩める思春期	30分	VHS	—	人権啓発課
11	<p>(1989年作品)</p> <p>分かっているようで親が気付いていないのが思春期の子どもの性の悩みである。興味本位の性情報、氾濫する性産業・・・彼らを取り巻く環境は親の時代から見ると大きく変わっている。彼らの不安や悩みを親はどう受けとめるか、三つの家庭を例に考えます。</p>				

12	NO！というのも親の愛	30分	VHS	—	人権啓発課
	<p>(1990年作品)</p> <p>親の顔が見たいと思うような青少年の事件が頻発しているが、それは何故か。三遊亭円楽の辛口家庭教育論をベースに、子どもの真の幸せとは何か、立派に育てるために親は何をなすべきか、本当の意味の親の愛情とは何か、を問いかけます。</p>				
13	クラスメイト	20分	VHS	—	人権啓発課
	<p>(1996年作品)</p> <p>いじめグループが分裂して派閥を作り、クラスを巻き込んだ対立を始めた。いつかいじめの標的は中立を保つ公子の方へ向いた。それまでいじめられていた聡はその時…。</p>				
14	金色のクジラ(アニメ)	25分	VHS	—	人権啓発課
	<p>(1994年作品)</p> <p>「ゆういち！今、助けてやるからな！…」兄は自分の骨髄液で、白血病の弟の命を救うために手術室に入っていきます。兄弟愛と勇気・家族愛と友情で満ち溢れている感動の物語。</p>				
15	鉢かづき姫(アニメ)	34分	VHS	—	人権啓発課
	<p>(1991年作品)</p> <p>昔々、河内の国のある村にかわいい女の子が生まれました。しかし、この子が14歳になると観音様のお告げにより頭に鉢をかぶせられました…。いじめと差別の中で、苦境にもめげず、力強く生きた鉢かづき姫の物語は、今の社会における親子の関係と人権問題を語り合える作品です。</p>				
16	しらんぷり(アニメ)	21分	VHS	—	人権啓発課
	<p>(1999年作品)</p> <p>いじめと対峙した少年の心の葛藤のドラマをリアルに描き出しています。特に、少年の心の叫びが爆発するシーンは胸を打ちます。親子で、クラスで観て下さい。話し合ってください。</p>				
17	みーつけた(アニメ)	18分	VHS	—	人権啓発課
	<p>(2002年作品)</p> <p>内向的な性格で思ったことをうまく表現できない4年生の真樹。クラスメートは面白半分で見守る。飼育委員長に祭り上げる。転校生の俊平も副委員長を押し付けられるが、みんな何かと口実を作っては当番をサボる。そんな日、ウサギが一匹死んでしまい、二人はみんなから責められ、真樹はますます熱心にウサギの世話をするようになるが、「自分がウサギを守らなければ」と決意した真樹の中で、何か少しずつ変わり始める。</p>				

	地域の虐待防止	26分	VHS	—	人権啓発課
18	<p>(2001年作品)</p> <p>相次ぐ児童虐待事件。その悲惨な現実には、大きな社会問題となっています。虐待の多くは日常生活の片隅で起こり、外部からの的確な対処が難しいと思われています。幼い子どもは自らを被害者だと訴えることができないのです。この作品では、となりの子どもの悲鳴を耳にしたある主婦のドラマを軸とし、虐待問題への関わり方を探っていきます。</p>				
	いじめ 14歳のMessage(メッセージ)	25分	VHS	—	人権啓発課
19	<p>(2000年作品)</p> <p>原作は当時14歳だった作者、小林慧樹さんにより書かれ、第18回パレットノベ大賞を受賞したもので、少女が書いた同世代への緊急メッセージです。ある女子中学生が教室の窓から飛び降りた。幽体となった主人公がもう一度、短かった一生、学校生活、友達、家族を振り返る。そして、なぜ彼女が飛び降りなければならなかったかが次第に明らかになっていく。</p>				
	その先の光へ	45分	VHS	—	人権啓発課
20	<p>(2000年作品)</p> <p>行きずりの中年女性を突然突き倒して大けがを負わせ、保護観察処分となった少女と家族、その保護司のドラマ。保護司の役割とは、家族とは何かを考えさせる作品です。青年、成人向き。</p>				
	親がかわれば子もかわる	26分	VHS	—	人権啓発課
21	<p>(1999年作品)</p> <p>父親は、息子が小学1年生の頃に書いた作文の一節を思い出していた。「・・・欲しい物は何でも買ってくれる満点パパ・・・。子どもが発するシグナルを、どう読み取るのか、そして親はどう対応するのか。難しい問題に解決の糸口を示唆する。</p>				
	うちの子に限って	29分	VHS	—	人権啓発課
22	<p>(2001年作品)</p> <p>最近の少年たちによる事件は「まさかあの子が」と思われるような少年の関与が少なくありません。面倒もかからず成績が良ければ、子育ては充分なのでしょうか・・・。子育てに本当に大切なのは何か、共に考えてみませんか。</p>				
	気づいたときが変えるとき	31分	VHS	—	人権啓発課
23	<p>子育てに真剣になればなるほど、陥りやすいのが過保護と過干渉。だがその落ち行く先は・・・。子どもにはそれぞれ個性があり、画一的な教育は子どもの真の幸せにつながらない。それでは親はどうあるべきか。子育てファジー論を展開します。</p>				

	私たちと人権 ー赤ちゃんのささやきー	31分	VHS	ー	人権啓発課
24	<p>根拠のない風習や習慣にとらわれたり、ホンネとタテマエを使い分けていては、真に人権の守られる社会をつくりあげることできません。人権について考える作品です。『第1話 出会って』『第2話 ホンネとタテマエ』『第3話 とともに生きる』</p>				
	セッチャン	34分	VHS	ー	人権啓発課
25	<p>ある日、中学2年生の娘・加奈子が「セッチャン」という転校生について両親に話し出した。「セッチャン」は運動会でのダンス練習でも仲間はずれにされているという。運動会当日に両親が見たものは皆についていけず一人だけ違う振りで踊る加奈子の姿。担任に聞くと「セッチャン」という転校生は存在しないことが判明した。しかしその後も加奈子は「セッチャン」のことを話し続けた。いじめにきずいた担任は両親に「彼女がご両親にセッチャンのことを話し続けたのは必死で自分の居場所を失うまいと考えたからでは」と話す……。原作は直木賞受賞作で重松清著の「ビタミンF」</p>				
	いじめを克服する<いじめを考えるシリーズ>	15分	VHS	ー	人権啓発課
26	<p>いじめを一人で抱え込み、苦しんでいる子どもたちが非常に多いようです。この作品では、もといじめられっ子たちがいかにいじめを克服したか、その体験を語ります。</p>				
	「いじめ」を考える ひとりじゃないんだ！	30分	VHS	ー	人権啓発課
27	<p>教師・保護者用 「いじめ」の対処と心のケア まわりからひどい「いじめ」を受ける男子中学生は、子ども相談室に電話や教師に相談するが……。</p>				
	沙羅双樹	99分	VHS	ー	イコーラム
28	<p>旧家に暮らす四人家族の双子の兄が地藏盆の日に行方不明に……。カンヌ国際映画祭のカメラドール(新人監督賞)を史上最年少で受賞した河瀬直美監督が、故郷の奈良を舞台に人と街と生きていくすばらしさを力強く描いた作品。</p>				
	誰も知らない	141分	DVD	ー	イコーラム
29	<p>母親の出で行った2DKのアパートで暮らす四人の兄弟は、父親がみな別々で、学校にも通ったことはなく、その存在は大家にも知らされていなかった……。東京という街で暮らす子どもたちに起こる出来事を、彼らの目線に寄り添いながら精緻に描写する。</p>				
	私たちと人権 子育て編 ー愛ちゃんのつぶやきー	32分	VHS	字幕	人権啓発課
30	<p>「子育て」は「親育ち」ともいわれます。子どもの成長に合わせて親自身も人間的に成長しないてはいけないからです。この映画では、共働き夫婦が子育てをする過程で、職場や家庭などにみられる人権にかかわる問題を取り上げ、私たちの人権意識について問題提起しています。</p>				

31	プレゼント (アニメ)	17分	VHS	—	人権啓発課
<p>2004年作品／小学生3・4年生対象</p> <p>小学校4年生の綾香は、同級生の美由紀の誕生日に手作りの写真立てをプレゼントする。それは、美由紀のことを思って作ったプレゼントであったが、美由紀の気に入るものではなかった。腹をたてた美由紀は、それからあやかをにいじわるを始める。美由紀がいじわるをするようになってから、それまで仲の良かった茜や恵まで綾香を避けるようになり、やがてクラス中が綾香を仲間はずれにするようになった。ただひとり、クラスで孤立している麻里だけが綾香をかばったが、ある出来事をきっかけに、綾香は学校を休んでしまった・・・。</p>					
32	パパ&ママのわくわく子育て	24分	VHS	—	イコーラム
<p>(～いっしょにね・たのしくね～) 2003年制作</p> <p>平成15年度大阪府ジャンプ活動助成事業</p> <p>“子育てって大変！！”でも、パパとママが協力すれば、もっと子育ては楽しくなるはず・・・。育児不安を経験した先輩ママたちが育児不安の解消法を提案します。</p> <p>Future/企画・制作</p>					
33	ケータイ・ネット社会の落とし穴 Vol.1 ～ネット社会の道しるべ	25分	DVD	—	人権啓発課
<p>多くの家庭にインターネットが普及し、小中学生の半数近くが携帯電話を所持している。しかし、その操作は知っていても、情報モラルやセキュリティについては十分とは言えない現状である。このDVDでは、新しいメディアの「影」の部分ドラマ形式でわかりやすく紹介し、ケータイ・ネット社会を健全に生きていくための基本を学んでもらう。</p> <p>●架空請求と個人情報 興味本位でアダルトサイトにアクセスした小学生が、誘導に乗せられて個人情報を送り、高額な請求書が送りつけられる。</p> <p>●メール交換と友達関係 仲の良い女子3人組の行われたメール交換。ちょっとした表現や引用が大きな誤解を招き、友情が引き裂かれる。</p> <p>●掲示板となりすましネット掲示板で「女子大生」と知り合った女の子。しかし、待ち合わせた場所に現れたのは男だった。</p>					
34	ケータイ・ネット社会の落とし穴 Vol.2 ～ケータイ社会の落とし穴～	25分	DVD	—	人権啓発課
<p>●メールと依存症 メールの「すぐに届く」利点を「すぐに返事がくる」と思っている女子中学生。食事のときもケータイが手放せなくなる依存症になってしまう。</p> <p>●メール交換と友達関係 知り合いの女子からのメールと思い、返信してしまった男子中学生。やがて請求のメールが届き、督促の電話まで。誰にも相談できず、ついに親の財布に手をつける、</p>					

	ケータイ・ネット社会の落とし穴 Vol.3 ～ブログ社会の落とし穴～	30分	DVD	—	人権啓発課
35	<p>●ブルグと個人情報 ～「日常」が「情報」に変わるとき～ 友達の勧めでブルグを立ち上げた「ありさ」。毎日のささいな出来事などを発信することに夢中になっていく。ブルグに書かれたありさの何気ない「日常」は、次第にありさを知るための「情報」へと変わっていく。そして、・・・</p> <p>●ブルグと権利侵害 ～ランキング競争が招くトラブル～ それぞれブルグを立ち上げ、ランキングを上げようと競い合う新聞委員の3人。はじめは小さな噂やかわいい画像をあげていたが、ランキング競争は激化。その結末に待ちかまえていたのは・・・。</p>				
	鬼の子とゆきうさぎ	22分	VHS	—	人権啓発課
36	<p>中学一年生が書いた愛の童話。鬼の子は夜明けの風の中を走ります。たいせつなものをとどけるために・・・！鬼の子と人間の女の子ユキとの友情の中から、私たちが忘れていたやさしさやおもいやりの心、家族のぬくもりがあなたに感動として伝わってきます。</p>				
	わたしも★ボクも みんな 生き生き	18分	VHS	—	イコーラム
37	<p>性別ではなく、子どもたち一人ひとりが違いを認め合い、活かし合う関係づくりを考えます。小学生向け。</p>				
	みんな友だち(アニメ)	15分	VHS	—	人権啓発課
38	<p>悩み疲れたペンギンが気付いた自分の可能性……。いじけ、しじめ、そして友情。ペンギン、カモメ、カラス、海亀&神様がおこなす生きるチカラの物語。</p>				
	きずだらけのりんご(アニメ)	23分	VHS	—	人権啓発課
39	<p>人間に化けてだました女の子と友だちになったいたずらタヌキのゲンタ。すっかり人間だと信じられ友だちとしての楽しい日々が続くが、嘘をついているのに耐えられなくなってくる。「うそ！」と言えたらどんなに楽なことなのか……。そんなある日、嘘を隠そうとして大変なことに……。悩むゲンタが取った結論は？</p>				
	シュンとモモの物語(アニメ)	20分	VHS	—	人権啓発課
40	<p>都会で暮らすシュンとモモ(カラスの兄妹)は、人間に嫌われ、いつもいじめられていました。モモは、体が不自由で、とても人間の近くでは生きてゆけません。ある日、北へ向かう雁の群れに、鳥達の楽園があると聞いたシュンは、モモをそこへ連れて行こうと雁を追いかけます。そして2昼夜、必死で飛びつづけ、たどり着いた美しい北の国、そこはまさに鳥達の楽園でした。鶴、白鳥、鴨、いろんな鳥たちが人間に守られて一緒に暮らしています。シュンとモモは大喜びしました。けれど、その時、“バーン”と銃の音が・・・</p>				

	<p>思いこみに気づく 小学生のための人権パート1</p>	14分	DVD	—	人権啓発課
41	<p>テーマ1 「思いこみってなんだろう？」 ホームレスの人や支援する人々の言葉から、わたしたちが普段いただいている「ホームレス」のひとつについての思いこみを考えてみます。さらに、日常生活のなかで、いろいろな思いこみを持ったこと、思いこみをされたことなどを考え、理解を深めていきます。</p> <p>テーマ2 「ちがいを受け入れる」 身体に障害のある、スクールカウンセラーの女性。彼女の暮らしの様子を通して、ちがいを受け入れることの大切さを学びます。また、男だから、女だからとか、外国人だからといった「思いこみ」だけで人を判断していることがないかを問いかけます。</p>				
	<p>大切なわたし大切なあなた 小学生のための人権パート2</p>	15分	DVD	—	人権啓発課
42	<p>テーマ1 「きづつくこと きずつけること」 虐待をテーマに、人に大切にされることが人を大切に作る心につながることを学びます。</p> <p>テーマ2 「大切な自分 大切なみんな」 小学生から大人まで、いろいろな人にインタビューします。いろいろな人の言葉を聞くことで、自分を大切に相手も大切にすることはどういうことかを、子どもたち自身に考えさせるものです。</p>				
	<p>虐待から子どもたちを守るために</p>	53分	VHS	字幕	人権啓発課
43	<p>第1部ドラマ 「扉をあけて」 5歳の明美が病院に運び込まれた。医師は児童虐待を疑い児童相談所に通告。児童福祉司の調査により母親は子育てに不安や苛立ちを抱えていたという。被虐待児特有の「凍りついた擬視（目）」をしている明美に「笑顔を取り戻してあげたい」と関係機関による親子への支援が始まった。</p> <p>第2部ドキュメンタリー 「それぞれにできること」 児童虐待に関する情報や救済に対する取組みを関係者のインタビューを交えながら紹介。</p>				
	<p>起こる前に考える子ども虐待</p>	39分	DVD	—	人権啓発課
44	<p>世代間で繰り返される虐待・・・愛着の形成と子育て支援がポイント 虐待の問題を予防という観点に立つと、核心はこの愛着形成にあると考えられる。虐待の背景には養育者との愛着関係がうまく形成されなかった事例が多く報告されている。また、都市化と核家族化が進んだ現代社会では子育て支援が喫緊、極めて重要な課題として浮上してきている。</p> <p>音楽的声かけが情緒的愛着関係をつくる 言葉がわからない子どもに優しく歌いかけるこもりうたは、音楽的声かけ→母子間に愛着が形成され→母親は子育て意欲が増進され心身が健康になり→子どもは愛着形成を基礎に心と身体の健全な生育につながる、と言うことが近年の研究であきらかにされている。</p>				

45	子どもの権利 中高生編	23分	VHS	—	イコーラム
	(1998年作品) 「子どもの権利」について、もっとも影響をうける当の子どもたちが理解できるよう作られたアニメーションによる無声ビデオ。				
46	見上げた青い空	34分	VHS	字幕 副音声	人権啓発課
	いじめを苦しめた良太は幼なじみの岸田へ最後のメッセージを残して公園の展望台から飛び降り自殺。岸田は、良太をいじめた中心人物に仕立てられた上、新たないじめの対象にされてしまい、転校することになった。岸田は転校先で、いじめにあい保健室登校をしている橋本幸江に出会う。いじめと命の大切さをテーマにした作品です。				
47	I am a child ! 働かされる子供たち	55分	VHS	—	人権啓発課
	(1998年作品) 児童労働は、世界中で一斉に非難されているにもかかわらず、未だに世界各地で広く行われている人権侵害です。世界中で2億5千万人にもものぼると言われる働く子どもたちのうち、1億2千万人は、学校にも行かず、毎日働かされています。そして、多くの子どもたちが、半奴隷状態のもと、危険な作業現場で酷使されています。児童労働問題は、今日の世界が取り組むべき最も重要な課題の一つであるにもかかわらず、その実態は、厚い沈黙の壁に囲まれています。この作品は、その壁をうち破ろうとする試みです。				
48	中学生のいじめを考える 被害者・加害者・観衆・傍観者	19分	DVD	—	人権啓発課
	いじめの四層構造、「被害者」「加害者」「観衆」「傍観者」。子どもたちのいじめの問題を提起することで、いじめの要因と構造を自覚させ、人権を考える契機を与えます。				
49	あたたかい眼差しを 虐待から子どもを守る	22分	DVD	—	人権啓発課
	(2012年作品) 近年、児童虐待が社会問題として注目されるようになり、児童相談所等で把握する要保護児童の数も急速に増えています。虐待によって命を奪われる児童は後を絶ちません。平成22年度、全国の児童相談所が対応した児童虐待相談の件数はおよそ5万5千件。20年間で、およそ50倍に増えたこととなります。なぜ、児童虐待が増えているのでしょうか。どのようにすれば、虐待から子どもの命を救うことができるのでしょうか。周囲の人々が援助する方法はないのでしょうか。本作品は、それらの問題点をケーススタディドラマや関係者の話などで探り、解決の方向性を示します。				

50	いじめを考える ー今、中学生としてー	14分	VHS	ー	人権啓発課
	いじめの根絶は非常に難しい問題です。今を生きる中学生は「いじめ」や「友達」についてどう考えているのでしょうか。中学生に考えを聞かせてもらいました。				
51	純がくれた命	20分	VHS	ー	人権啓発課
	度重なるいじめに耐えかねた健一(中1)は自殺を図るが、かろうじて一命を取りとめます。入院先で同室になった純(中2)は、難病に侵されていたが、夢に向かって生きていました。ひたむきに生きた純の姿は、死にたいと考えている健一に、深い感銘を残します。				
52	みんないちばん!	13分	DVD	ー	人権啓発課
	子供たちは、さまざまな経験を通して成長していきます。その過程で、つまづき自身を失うこともあります。友達をうらやむこともあります。しかし、一人一人は違っていても、みんなすばらしいところをもっています。この作品は、ともだちのいいところを認め、自分のいいところを見つけることのすばらしさを伝えます。それが、自分も大切、相手も大切という人権感覚を見につけることにつながると考えています。				
53	いじめと戦おう ～もしもあの日に戻れたら～ 中学生編	23分	DVD	ー	人権啓発課
	いじめはどのようにして起こり、どうすれば防げるのかは保護者や教員にとって大きなテーマともいえます。本教材は、鑑賞した生徒がいじめのメカニズムや対策を自分の身に置き換えて考えることができるドラマ形式の教材です。いじめられっ子の立場だけでなく、傍観してしまっている生徒たちが如何にして、クラスの”いじめの構図”を崩せるかという視点を中心に、いじめ問題全体について話し合うために活用頂けます。				
54	いじめと戦おう ～私たちにできること～ 小学生編	21分	DVD	ー	人権啓発課
	いじめはどのようにして起こり、どうすれば防げるのかをしておくことは、現代に生きる小学生児童にとって必要な事と言えると思います。本教材は、鑑賞した児童がいじめの、当事者、被害者、傍観者の立場を理解し、考えることができるドラマ形式の教材です。またクラスの大多数を占めるであろう傍観者が如何にして”いじめの構図”を崩せるかという視点を中心に、いじめ問題全体について話し合うために活用頂けます。				

	ココロ屋(アニメ)	25分	DVD	—	人権啓発課
55	友だちを泣かせてしまい「ココロをいれかえなさい」と先生にしかられた小学3年生の「ぼく」。教室をどびだし、長い廊下を走った末に、迷って入りこんでしまったのは「ココロ屋」=ウツロイ博士が作り出した、いろいろなココロが並んでいる店だった…。「ココロ」をテーマに、自分とは何かを考えさせる、道徳教材として好適のアニメーションです。				
	ハードル(アニメ)	84分	DVD	—	人権啓発課
56	未来を担う子どもたちの健やかな心の成長は、社会の大きな願いです。昨今、子どもたちの間には、不登校、少年犯罪、いじめなどの問題が急増していますが、それは実は社会がつくりだしたものなのかもしれません。21世紀を生きる子どもたちが、自分と人との大切にし、正義と勇気をもって生きていける社会にするために、私たち大人が子どもの命と心を守っていかなければなりません。この作品は、子どもたちの心の声を描いた作品です。				
	負けるな！千太 —さよならいじめ虫— (アニメ)	24分	DVD	—	人権啓発課
57	人間も他の生き物と同じ様に、残酷な心、攻撃する心を持っています。誰の心の中にもいじめ虫がいるのです。この物語は、弱い者への慈しみや命の尊さを基本に、誰の心にもいじめ虫がいること、いじめという行為がいかに酷く、無益であるかをアニメーションの特性をフルに活用し描いていきます。 命とは？人間とは？いじめとは？ひとりひとりの心に直接この問いかけを試みる、ある夏の物語です。				
	いじめケース・スタディ —みんなで考えよう—	16分	DVD	—	人権啓発課
58	(2010年) いじめには、無視、暴力、プロフ、ブログ、掲示板(学校裏サイト)での誹謗中傷などがあります。ケースによって、対処法には違いがあります。本作品は、それぞれのケースに合わせて、どのような対応をすれば、いじめ被害を解決できるか、保護者や教師にどのように相談していけばいいかを、再現ドラマを交え、教育評論家、尾木直樹先生がわかりやすく解説したものです。子どもたちが話し合いの中で、人権を尊重する心を育てられるように制作されています。				
	ひとりのときがあぶない！ —ゆうかい・つれさりにあわない—	15分	DVD	—	人権啓発課
59	実写で様々な危険な場所と安全な場所の具体例を示し、子どもたちに印象づけます。また、子ども110番の家など困ったときに逃げ込める場所を紹介して、助けを求める方法についても考えていきます。アニメの動物が登場して説明するなど、子どもたちにわかりやすい工夫がされている教材です。 (幼児・小学校低学年向け)				
	ひとりのときがあぶない！ —自分で自分を守る—	15分	DVD	—	人権啓発課
60	低学年向け作品の内容に加えて、安全マップを作って近所の危険な場所をしっかりと覚えよう、自分より小さい子どもにも関心を持ちイザという時は助けてあげよう、と訴えていきます。 (小学校高学年向け)				
	こいびの暴力 —心を傷つけるはたらき—	20分	DVD	字幕	人権啓発課

	ことばの茶の葉 ～心を傷つけたひと～	20分	DVD	字幕	人権啓発課
61	私たちにとって当たり前存在である言葉。その言葉の大切さと、使い方次第でことばが人を傷つける刃物のようにしてしまうことを、少女美羽と美羽の家族、美羽の友達との何気ない日常を通して、言葉の力、使い方をもう一度考えるきっかけになることを目的に制作されています。 (小学校高学年向け)				
62	どんぐり森へ～ひとりにひとつのたからもの～ (アニメ)	15分	DVD	—	人権啓発課
62	保育園に通うタックンは虫が大好き。虫をつかまえては乱暴に扱うので、お母さんに叱られています。そんなある日、近所の「ぐるぐる公園」で木の枝から落ちてきた鳥のたまごを発見。そのたまごは「くもり病」いかかっていた。彼はたまごを持って、どんぐり森の「どんぐり病院」へ行くことに。そこではさまざまな困難にであったり、不思議な体験をします。そんな中でタックンが見つけた“ひとりにひとつのたからもの”とは・・・。 (幼児・小学校低学年向け)				
63	ねずみくんのきもち (アニメ)	12分	DVD	—	人権啓発課
63	(2008年) 公園で仲良しのねみちゃんを待っているねずみくん。そこへいじわるねこくんがやってきました。ねこくんにまたいじわるされたねずみくんは考えます。「またいじわるされちゃった。ぼくって、小さくて気が弱くて、なにをしても失敗ばかり。だからいじめられるのかなあ」落ち込んでいるねずみくんに、ふくろうさんは優しく言いました。「きっとねこくんは、一番大切なものを忘れてるんだよ」ねずみくんは、ふくろうさんと一緒に、一番大切なものは何か気づいてゆきます。 ねみちゃんとお弁当を食べようとしたねずみくんは、勇気を持って、ねこくんも一緒に食べようと誘いました。 (幼児・小学校低学年向け)				
64	ともだち みつけた	16分	DVD	—	人権啓発課
64	(2011年作品) 幼児向けアニメーション。第1話は、相手を思いやる心を、第2話は、失敗を恐れず勇気を持ってチャレンジする心とそれを見守る友情をテーマとしています。				
65	おれたち、ともだち！シリーズ(全4話)	計52分 (各話13分)	DVD	字幕	人権啓発課
65	(2002年作品) 「えー、ともだちやです。ともだちはいりませんか？」1時間100円で『ともだちや』をはじめたキツネ。キツネは、オオカミと楽しく遊んだ後にお代を請求しますが…。キツネとオオカミは、本当のともだちになれるかな？ ※第1話「ともだちや」、第2話「ともだちくるかな」、第3話「あしたもともだち」、第4話「ごめんねともだち」				